

# 東京大学地震研究所技術研究報告

## 投稿案内

技術研究報告編集委員会  
2023年2月1日

「技術研究報告」は、地震研究所の研究活動の技術的側面に焦点をあて、観測機器・実験装置・ソフト関係を含むシステム等の開発や改良、各種データの処理・伝送・公開方法、各種観測・実験・運用などの多岐に渡る技術的テーマに関連する話題を掲載する定期刊行誌です。投稿できる方は、原則として地震研究所に所属する教職員および学生ですが、編集委員会が認めた場合はその限りではありません。

投稿申込者には、下記スケジュール(1.)にしたがって、投稿申込書(2.)、査読用原稿(3.)、修正原稿(必要な場合)、最終原稿(4.)、著者初校(5.)を提出して頂きます。原稿は別紙「原稿作成要領」にしたがって作成してください。なお原稿作成要領に準じたMicrosoft Word形式のテンプレートファイルとして、別紙「原稿フォーマット」を用意してありますので、原稿作成時にご利用ください。別紙は、当委員会のウェブサイト(<https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/gihou-web/>)にあります。

### 1. 投稿申込から刊行までのスケジュール

- 4月 投稿申込書の提出(2.を参照)
- 9月 査読用原稿の提出(3.を参照)
- 10月 査読、修正
- 11月 原稿の採否の通知
- 11月 最終原稿の提出(4.を参照)
- 12月 初校(著者による校正は初校のみ)(5.を参照)
- 翌1月 再校
- 2月 刊行
- 2~3月 配布

### 2. 投稿申込書

下記項目を明記したメールを編集委員会(gihou\_toukou@eri.u-tokyo.ac.jp)宛にお送りください。メールの題名は「技術研究報告投稿申込」でお願いします。

- (a) 連絡責任者  
氏名 :  
所属 :  
e-mail :  
住所 :  
電話 :
- (b) 申込年月日 :
- (c) 著者名 :

- (d) 論文題名 :
- (e) 原稿の区分 :  
(A. 論説, B. 総説, C. 報告, D. 資料, E. 拡張要旨, F. その他)
- (f) 別刷希望数 :  
(指定が無い場合は50部。50部までは所が負担)

「(e) 原稿の区分」の内訳は下記をご参照ください。

#### A. 論説：地震研究所で行われた共同利用を含む技術研究の成果をもとにしたオリジナルな技術研究論文

新たに開発・改良された観測機器・実験装置・システム(ソフト関係を含む)の紹介およびそれらによって得られた結果、各種観測・実験などから得られた成果を報告するもので、独創性があり、論文として完結した体裁を整えていること。

#### B. 総説：技術研究成果を総覧し総合的にまとめたもの

技術・装置・システムなどを総合的に解説した報告、およびそれらの変遷や長期的に得られた観測・実験結果についての総括的な論文。

#### C. 報告：観測・実験の報告、学会・講習会などに関する報告

各種観測・実験の概要や結果の報告、学会・講習会などへの参加で得られた知見や意見の報告、シンポジウムなどの運営の報告、地震研究所で行われているプロジェクト研究の紹介、技術情報・技術開発に伴う問題点や観測秘話の紹介、といった幅広い内容の報告。

#### D. 資料：データを主とするもの

データ・図・写真・リストなどを記載しておくことで散逸を防止し、有効活用を図ることを目的とする。

#### E. 拡張要旨：地震研究所職員研修会での発表の要旨を充実させたもの

発表時に用いた図・写真などの資料、詳細な技術情報、あるいは発表要旨提出以降に得られたデータや成果を追加し、内容を充実させた要旨。

#### F. その他：上記分類に属さないもの

### 3. 査読用原稿の提出

別紙「原稿作成要領」にしたがって査読用原稿を作成し、その電子ファイルを締切日までに下記宛先に提出してください。電子メール(10MB以下の場合)、または、電子ファイルを保存したメディアにより提出して下さい。地震研構成員の場合はなまず便(地震研所内からのみ送信可能な

ファイル送信システム)等の利用も可です。

提出先：

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1  
東京大学地震研究所「技術研究報告編集委員会」  
gihou\_toukou@eri.u-tokyo.ac.jp

#### 4. 最終原稿の提出

掲載受理決定通知を受領後、最終原稿を原則的に電子ファイル(図表は明瞭なものを用意すること)でお送りください。宛先は査読用原稿の宛先と同じです。

#### 5. 校正

- (a) 校正はその著者が自らの責任で行ってください。もし著者が出張などで不在になる場合には、校正の代行者または送り先を明らかにしておいてください。
- (b) 各著者は校正刷の入手後10日以内に校正を終えて返却してください。
- (c) 校正の段階での、文章用語その他の改変は原則として認められません。
- (d) 著者による校正は原則として初校のみです。

- (e) 上記事項が守られない場合には、他の寄稿者の迷惑を考慮して、掲載を次号に回すことがあります。

#### 6. 注意事項

- (a) 掲載論文の著作権は地震研究所に帰属します。
- (b) 掲載論文は東京大学学術機関リポジトリ(UTokyo Repository)に登録され、ウェブ公開されます。また、それに伴い、論文には原則としてJapan Link Center(JaLC)が提供するDigital Object Identifier(DOI)が付与されます。
- (c) 提出された原稿などは原則としてお返しいたしませんので、ご承知おきください。
- (d) 編集委員会は、明らかな表記の誤りを正す場合や体裁の統一などをはかる場合、著者の承諾なしに原稿の一部を修正することがあります。
- (e) 別刷は50部までは本所が負担しますが、それを超える分の費用は著者負担となります。
- (f) 寄稿・編集・出版に関するお問い合わせは編集委員会(gihou\_toukou@eri.u-tokyo.ac.jp)宛にメールでお送りください。

以上